

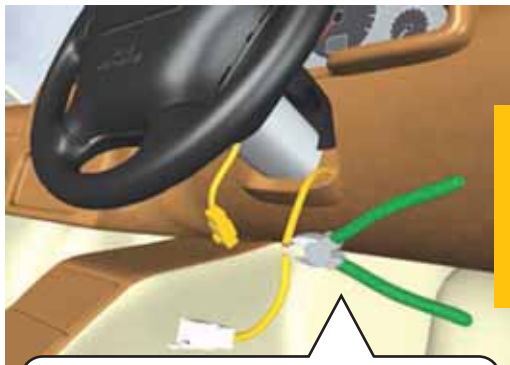
車上作動処理委託契約事業者の皆さまへ

再徹底をお願いします 車上作動処理の安全作業について

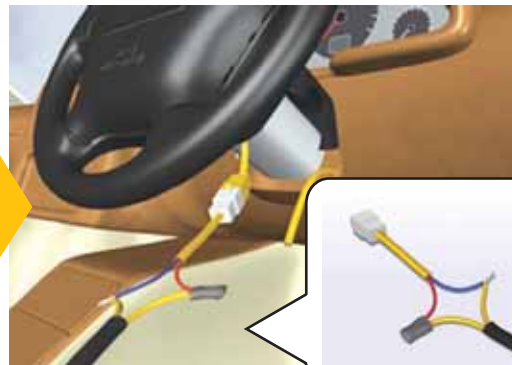
先般、車上作動処理の安全作業を強化させていただきましたが、未だに徹底されていないケースも見受けられることから、再度社内にて伝達いただくようお願いいたします。また、今後、多段式エアバッグ※の入庫増加が予想されることから、処理漏れ・事故防止のため、下記作業方法についてもあわせて再徹底いただきますようお願いいたします。

個別作動処理時の適切なハーネス接続方法 (適正処理情報 共通情報 「電気式エアバッグ類の個別作動」参照)

内装パネルを外してエアバッグ類の配線を取り出し、コネクタがある場合はコネクタを外した上で車台側のハーネスをニッパー等で切断し、15mm程度被服を剥がす。切り離れた車台側のハーネスに電源ケーブルを接続し、モジュール側ハーネスに接続する。



車台側のハーネスを切断



電源ケーブルを接続

「一括作動処理ツール」を使用する場合は、一括作動用コネクタに接続するのみで上記作業は必要ありません。

※ 多段式エアバッグについて

【多段式エアバッグとは】

衝突状況に応じてエアバッグの膨張力を自動調整するため、エアバッグを段階的に作動させる仕組み。

【作業時の注意点】

多段式エアバッグは内部が2分割されており、分割されたそれぞれにハーネスが接続されています。そのため、誤った方法で個別作動を実施すると、一方のインフレータのみが通電・作動し、通電させていないインフレータも、数分後、自動的に作動する可能性があります。

個別作動方式で車上作動処理をする際には、必ず上記に記載している適切な作業方法を実施してください。

※ 車台側のハーネスは4本あるので、2組に分けて電源ケーブルを接続してください。

※ 作動しない場合は4本のハーネスの組み合わせを変更して再度実施してください。

ご不明な点は **自動車再資源化協力機構** まで
03-5405-6155